

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療秘書・事務学科	夜・通信	225 時間	160 時間	
	IT 医療情報学科	夜・通信	225 時間	160 時間	
	医薬品・登録販売者学科	夜・通信	204 時間	160 時間	
	販売・マーケティング学科	夜・通信	201 時間	160 時間	
	美容・スキンケアアドバイザー学科	夜・通信	201 時間	160 時間	
	オフィスビジネス学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ビジネス秘書・事務学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	イベントビジネス学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ゲーム・eスポーツビジネス学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	経営マネジメント学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	事業創造学科	夜・通信	234 時間	160 時間	
	大学併修事業創造学科	夜・通信	336 時間	320 時間	
	ビジネスライセンス学科	夜・通信	105 時間	80 時間	
(備考)					
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・介護学科については、募集停止につき、記載していない。 ・ビジネス教養学科については、留学生専用学科につき、記載していない。 ・SNS マーケティング学科について、入学実績無につき、記載していない。 					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	政策的観点
非常勤	団体職員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	教育統括的視点
非常勤	弁護士	2023年6月 1日～2027 年5月31日	法的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校におけるシラバスとは学生が授業科目の内容や概要、計画などを理解し準備学習等を進めるための基本となるものであると考える。つまり、学生が何を目的とし、何をいつ学んでいくのかを示すとともに、何を身につけるのかという学習への動機づけにつながるものである。そのため、「学生の目線に立ってわかりやすい記述」でなければならない。また、シラバスを公表することで、本校の教育内容の詳細を本校のステークホルダーが把握するための資料となる。さらには授業担当教員が他の授業科目のシラバスを参考にするすることで、自らの授業内容への改善につながることも期待できる。</p> <p>シラバスは各授業担当者が決定し次第、作成に取りかかるものとし、前年度の3月初旬に提出および、3月末には本校のホームページ内にて公表を行っている。</p> <p>様式には以下の点を共通記載項目とし、作成者によるバラつきが生じないように標準化を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業科目の基本情報(科目名、必修・選択、授業時間総数)、対象学科・学年) ② 担当教員(実務経験の有無と職種、業務内容) ③ 授業概要 ④ 到達目標 ⑤ 成績評価方法・基準 ⑥ 資料教材・教具 ⑦ 授業にあたっての留意点 ⑧ その他 <p>本校は学科が多様化していることから、様式に沿っての記載が難しい場合がある、そのため留意点やその他といった項目に記載して補うこととする。</p>	
授業計画書の公表方法	NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・検定関連科目は、特に検定結果を重視して評価する。 ・検定のない科目は、科目終了時の評価（試験・レポート）を重視してする。 ・検定結果によらない科目または検定取得状況以外の評価については、100点満点換算で次の基準を目安とする。 A (100～80) B (79～70) C (69～60) D (59～0) ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、前項の評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・成績評価の記載方法は以下の通りとなる。 <ul style="list-style-type: none"> a. 成績評価はA、B、C、Dの4段階とする。 b. GPA（成績評価平均値）とは、A=4、B=3、C=2、D=1とし、この数字に科目ごとの単位数を乗じたものを合計して総単位で除したものとする。 c. 単位の換算は、(1) 講義及び演習については16時間 (2) 実験、実習及び実技については32時間で一単位とする。 ・前期、後期の各成績評価に算出されたGPAを基に、成績分布図を作成し、状況の把握と学生指導に活用する。また、GPAが下位4分の1にある場合と、年間出席率が80%以下となった場合には学校長から警告を与える。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、以下に示す能力を身につけ、各学科所定の期間在籍し、学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <p>【身につける能力】</p> <p>① 各学科が目指す業界・職種において即戦力となる資格・技能・知識 ② 社会で求められるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力 ③ 社会人としての常識とマナーを理解し実践できる力 ④ 心身ともに健全であるための自己管理能力 ⑤ 公共心と公德心をもち、社会のために行動できる力</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上 ② 成績評価が全科目 C 以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p> <p>・卒業に必要な検定は、学科ごとに定めるものとする。(学生の手引きに明記し、学生全員に配布・説明をおこなっている。)</p> <p>・CFP ポイントとは、カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの略称で、本校の教育方針のひとつでもある「すぐれた技能・知識の習得」「人間力の向上」の実現を目指し、各種行事・活動・イベントの参加およびボランティア活動を通じて、社会性を身に付け、公共心、公德心を養うことを目的としたプログラムである。これら各活動に参加することでポイントが付与される。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
収支計算書又は損益計算書	NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
財産目録	NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
事業報告書	NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
監事による監査報告（書）	NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療秘書・事務学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,837 単位時間/単位	955 単位時間 /単位	464 単位時間 /単位	418 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,837 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		83人	0人	4人	5人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科は、各種医療機関において活躍できる医療秘書・医療事務員を育成することを目的とする。そのために医療秘書検定・医療事務管理士試験の学習を通して医療秘書・医療事務員としての専門知識の習得を図るとともに、医療機関で用いられるコンピュータの操作技術を習得する。また、病医院接遇実習・病院実習を通して現場に即した患者対応・患者補助の知識を学ぶとともに、豊かな人間性と協調性を身に付ける。</p> <p>この目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>医療秘書・事務学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑥ スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55人 (100%)	0人 (0%)	53人 (96.4%)	2人 (3.6%)
(主な就職、業界等) 医療機関、歯科医院、調剤薬局			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会-の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・医療事務技能管理士認定試験 医科 ・医療秘書技能検定試験 1級 他 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	IT 医療情報学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,855 単位時間/単位	843 単位時間 /単位	453 単位時間 /単位	559 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,855 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		5人	0人	4人	5人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科は、各種医療機関において活躍できる医療情報管理スタッフやシステム管理スタッフを育成することを目的とする。そのために医療事務管理士試験やITパスポートの学習を通して専門知識の習得を図るとともに、医療機関で用いられるコンピュータの操作技術を習得する。また、病院実習を通して現場に即した患者対応・患者サポートの知識を学ぶとともに、豊かな人間性と協調性を身に付ける。</p> <p>この目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>IT医療情報学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療機関、歯科医院、調剤薬局 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・医療事務技能管理士認定試験 医科 ・医療秘書技能検定試験 1級 ・ITパスポート試験 他 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医薬品・登録販売者 学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,818 単位時間/単位	1,073 単位時間 /単位	277 単位時間 /単位	468 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,818 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	24人	0人	4人	4人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「登録販売者試験を通して主にドラッグストアや調剤薬局での業務に必要な知識を身につけ、また現場対しての理解と豊かな人間性、協調性を身につけること」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>医薬品・登録販売者学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
(概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	15人 (93.8%)	1人 (6.3%)
(主な就職、業界等) ドラッグストア、調剤薬局 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・登録販売者試験・調剤事務管理士技能認定試験・リテールマーケティング検定3級 ・POP 広告クリエイター技能審査試験 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) 学校生活・学業不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	販売・マーケティング 学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,851 単位時間/単位	913 単位時間 /単位	331 単位時間 /単位	607 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,851 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		34人	0人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「流通業界で唯一の公的士格であるリテールマーケティング検定への合格と、小売業、サービス業の現場で役立つ各種スキルの習得」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>販売・マーケティング学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	22人 (84.6%)	4人 (15.4%)
(主な就職、業界等) 小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・リテールマーケティング検定3級・リテールマーケティング検定2級 ・色彩検定3級 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	美容・スキンケア ドバイザー学科学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,748 単位時間/単位	1,117 単位時間 /単位	277 単位時間 /単位	354 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,748 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	26人	0人	4人	8人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「美容・スキンケアに関する知識の習得、美容薬学検定の合格と、小売業、サービス業の現場で役立つ各種スキルの習得」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>販売・マーケティング学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・美容薬学検定・リテールマーケティング検定3級・色彩検定3級 他 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	オフィスビジネス学 科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,888 単位時間/単位	963 単位時間 /単位	217 単位時間 /単位	708 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,888 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	23人	0人	3人	3人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「ソフト活用を主目的として、office ソフトの活用はもちろんのこと、最新の IT 技術の業務への導入を推進できる人材を育成している。また、社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協調力・実行力を養うために、グループワークや各種ボランティアを取り入れている」。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>オフィスビジネス学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
(概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	0人 (0%)	25人 (89.3%)	3人 (10.7%)
(主な就職、業界等) IT業、卸売業、商社、サービス業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・情報処理技能検定3級・MOS Word2019 Expert・MOS PowerPoint2019 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	3人	6.1%
(中途退学の主な理由) 学校生活・学業不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ビジネス秘書・事務 学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,888 単位時間/単位	1,086 単位時間 /単位	217 単位時間 /単位	585 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,888 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		50人	0人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）本学科の目的は「秘書・接遇マナー習得を主目的として、簿記会計、税務などの知識を習得し、事務処理能力を備えた人材を育成している。また、秘書・接遇マナーに加えて、社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協調力・実行力を養うために、グループワークや各種ボランティアを取り入れている」。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>ビジネス秘書・事務学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。 	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得 	

学修支援等
(概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) IT業、卸売業、商社、サービス業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・秘書技能検定1級・全経簿記検定試験 工業簿記2級・ビジネス文書検定3級 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	2人	3.8%
(中途退学の主な理由) 学校生活・学業不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	イベントビジネス学 科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,927 単位時間/単位	561 単位時間 /単位	502 単位時間 /単位	864 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,927 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		29人	0人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「イベントに関する知識、企画立案方法、広告制作の基礎知識などを学び、イベント会社、商店街振興組合および広告制作会社と連携を結び、インターンシップ等の参加により、イベントを企画・運営し、効果的な集客ができる知識と技術を身に付けることを目的とする」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>イベントビジネス学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	17人 (85%)	3人 (15%)
(主な就職、業界等) イベント企画・運営業、小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・イベント検定・Word検定3級・Excel検定3級 他 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ゲーム・eスポーツ ビジネス学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,921 単位時間/単位	558 単位時間 /単位	502 単位時間 /単位	861 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,921 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	7人	0人	3人	3人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は、世界的に市場が急拡大し、注目されているeスポーツの企画・運営を学ぶ学科である。プレイヤーとしての視点、オーディエンスとしての視点、クリエイターとしての視点などが融合していくクリエイティブな業界において、本学科では、専門性を補完する検定試験の合格を目指すとともに、多様な知識・技術を身につけクリエイティブな企画力を習得し、また現場実習を通し実践的な能力を身につけることを目標とする。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>ゲーム・eスポーツビジネス学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
e スポーツビジネス企画・運営業、各種サービス業			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
・全経簿記検定・Word 検定 3 級・Excel 検定 3 級 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経営マネジメント学 科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,921 単位時間/単位	660 単位時間 /単位	619 単位時間 /単位	642 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,921 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	5人	1人	4人	4人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「将来に起業することを目的として経営基礎知識の習得とマーケティング知識や各種コンピュータ技術、コミュニケーション技術の向上を目指す。また、実力を養うために実習を行い社会人基礎力の向上に努める」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>事業創造学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上

③ 進級に必要な CFP ポイントの取得
学修支援等
(概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) イベント企画・運営業、小売業、ホテル業、各種サービス業 などを想定			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果 (資格・検定等)) <ul style="list-style-type: none"> ・Word 検定 3 級・Excel 検定 3 級・社会人常識マナー検定 3 級 他 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	事業創造学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,832 単位時間/単位	665 単位時間 /単位	626 単位時間 /単位	541 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,832 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	6人	0人	4人	4人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「将来に起業することを目的として経営基礎知識の習得とマーケティング知識や各種コンピュータ技術、コミュニケーション技術の向上を目指す。また、実力を養うために実習を行い社会人基礎力の向上に努める」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>事業創造学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	3人 (42.9%)	4人 (57.1%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>イベント企画・運営業、小売業、ホテル業、各種サービス業 など</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>・Word 検定 3 級・Excel 検定 3 級・社会人常識マナー検定 3 級 他</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	大学併修事業創造学 科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3,637 単位時間/単位	2,424 単位時間 /単位	561 単位時間 /単位	652 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,637 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	3人	0人	3人	4人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科の目的は「将来に起業することを目的として経営基礎知識の習得とマーケティング知識や各種コンピュータ技術、コミュニケーション技術の向上を目指す。また、実力を養うために実習を行い社会人基礎力の向上に努める」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>事業創造学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上

③ 進級に必要な CFP ポイントの取得
学修支援等
(概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) イベント企画・運営業、小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・Word 検定 3 級・Excel 検定 3 級・社会人常識マナー検定 3 級 他 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ビジネスライセンス 学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1,007 単位時間/単位	551 単位時間 /単位	341 単位時間 /単位	115 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,013 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		4人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科は、各種医療機関において活躍できる医療秘書・医療事務員を育成することを目的とする。そのために医療秘書検定・医療事務管理士試験の学習を通して医療秘書・医療事務員としての専門知識の習得を図る。また、医療機関実習を通して現場に即した患者応対・患者補助の知識を学ぶとともに、豊かな人間性と協調性を身に付ける。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>ビジネスライセンス学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	5人 (100%)
(主な就職、業界等) 医療業界			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・MOS Word2016・MOS PowerPoint2016・社会人常識マナー検定3級 他 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療秘書・事務学科	70,000円	650,000円	270,000円	その他欄内訳 ・施設設備費 150,000円 ・施設維持費 120,000円
IT医療情報学科				
医薬品・登録販売者学科				
販売・マーケティング学科				
美容・スキンケアアドバイザー学科				
ビジネスライセンス学科				
オフィスビジネス学科		670,000円		
ビジネス秘書・事務学科				
イベントビジネス学科				
ゲーム・eスポーツビジネス学科				
SNSマーケティング学科				
事業創造学科				
大学併修事業創造学科	590,000円			
修学支援 (任意記載事項)				
特待入試、指定校推薦入試、AO入試、一人暮らし支援制度、進路変更支援制度、SR制度、NSGカレッジリーグ無利子奨学制度・母子父子家庭奨学金制度・学費分割納入制度・学費奨学融資				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員には、当校が備える医療、販売、事務、経営・イベント分野に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するという本校の目的をふまえ、「医院経営者」「税理士」「社会保険労務士」「小売業経営者」「イベント業経営者」といった実務のスペシャリストを4名以上配置する。 評価の項目については、「教育理念・目標」、「学校運営」、「教育活動」、「学修成果」、「学生支援」、「教育環境」、「学生の受入募集」、「財務」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」の10項目について評価を受ける。 評価結果の活用については、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、毎年4月に学校関係者評価委員会を実施し、その評価結果を公表するとともに、各委員よりいただいた指摘事項等を元に、教育活動その他の学校運営の改善に活かしていく。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
Ar t 税理士法人	2024年4月1日～2027年3月31日	税理士
株式会社 マッチボックステクノロジーズ	2024年4月1日～2027年3月31日	企業等委員（小売業・サービス業）
株式会社 サウンドエイト	2024年4月1日～2027年3月31日	企業等委員（サービス業・イベント業）
医療法人社団 阿賀歯科 阿賀町鹿瀬歯科診療所	2024年4月1日～2027年3月31日	企業等委員（医師）
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
--